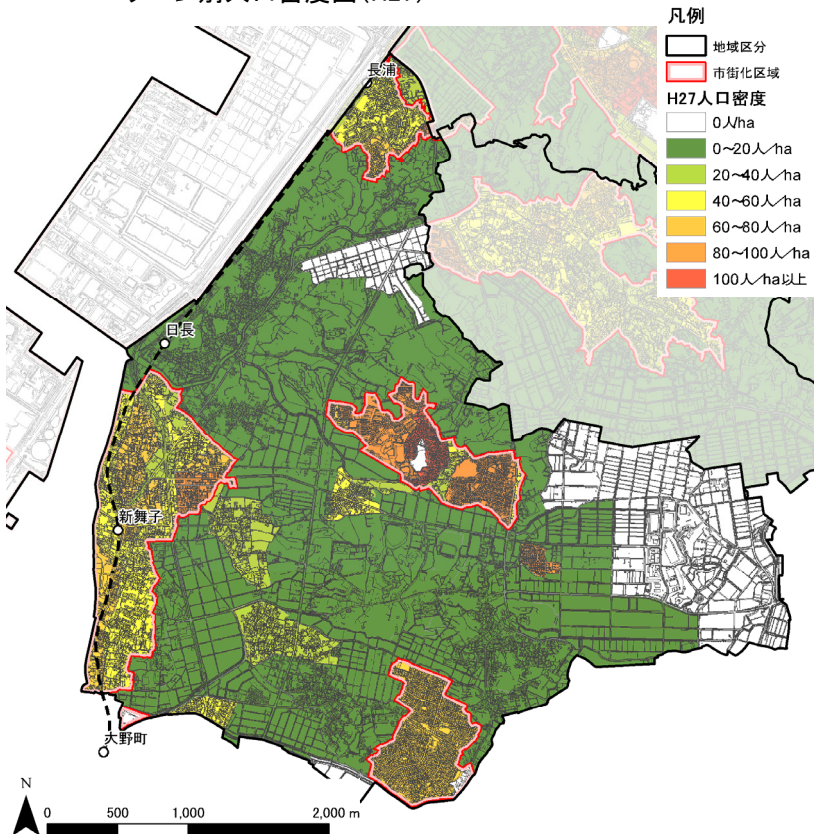


(4) 南部地域

ア 地域の概況

本地域には、本市を代表する海洋観光・レクリエーション資源である新舞子海岸があります。また、地域内に(都)西知多道路のインターチェンジが整備される予定であり、広域交通の利便性の高まりが期待されています。本地域の市街地は新舞子駅周辺に形成されているほか、広がりのある田園の中に、市街地や集落地が分散して立地しています。

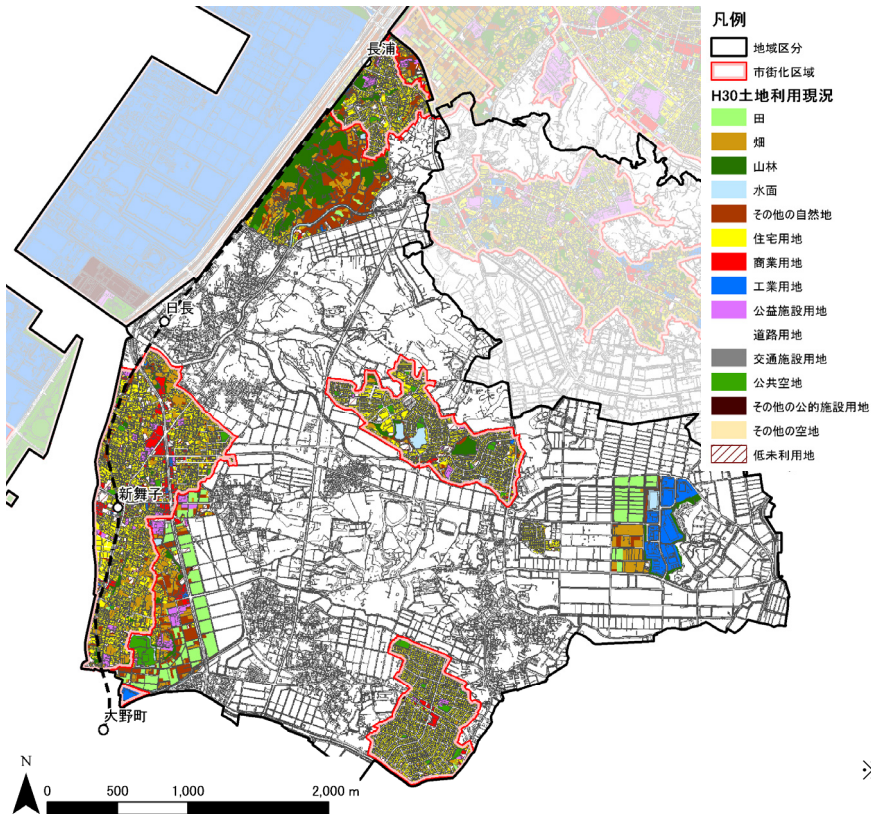
ゾーン別人口密度図(H27)



- 日長台地区、旭桃台地区や南粕谷地区等、計画的に開発された住宅団地では人口集積が高い傾向にあります。
- 一方、新舞子駅、長浦駅周辺の既成市街地では、計画的に開発された住宅団地と比較して人口密度が低い状況にあります。
- 市街化調整区域において人口密度が20~40人/haの集落地の分布がみられます。

(資料:平成28(2016)年度都市計画基礎調査)

土地利用現況図

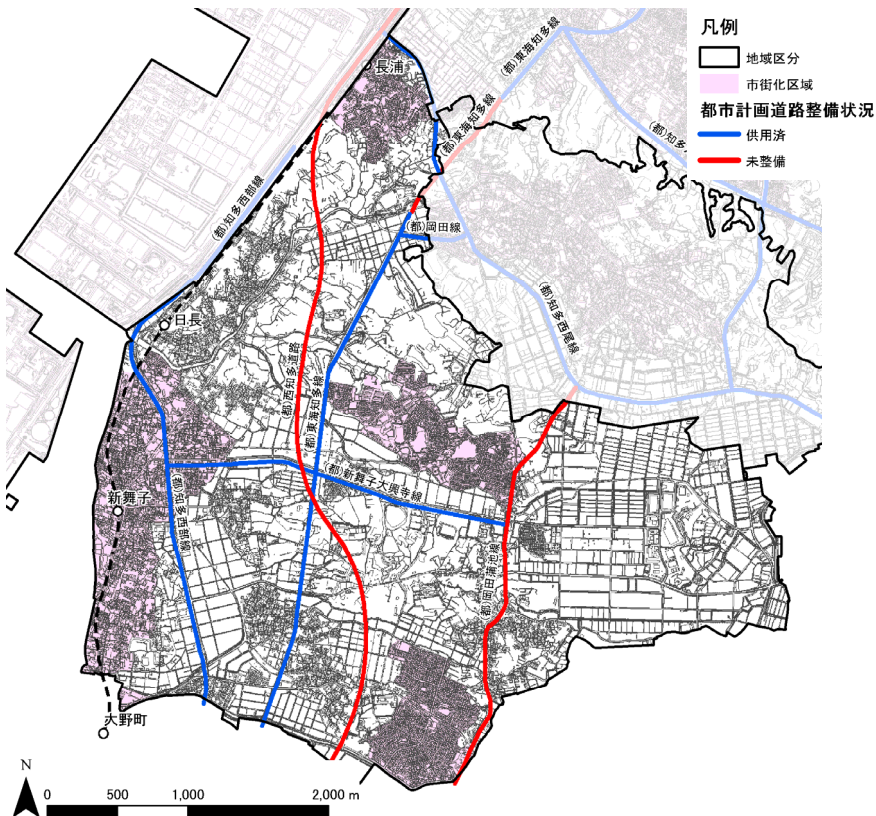


- 市街化区域の大半は住宅用地を基本とした土地利用となっています。
- 市街化調整区域の大興寺工業団地では大規模な工業用地がみられます。
- 新舞子駅周辺の幹線道路沿道を中心に商業用地がみられるほか、南粕谷地区の中心部にも商業用地の分布がみられます。

※都市計画基礎調査において調査された範囲のみ表示

(資料:平成30(2018)年度都市計画基礎調査)

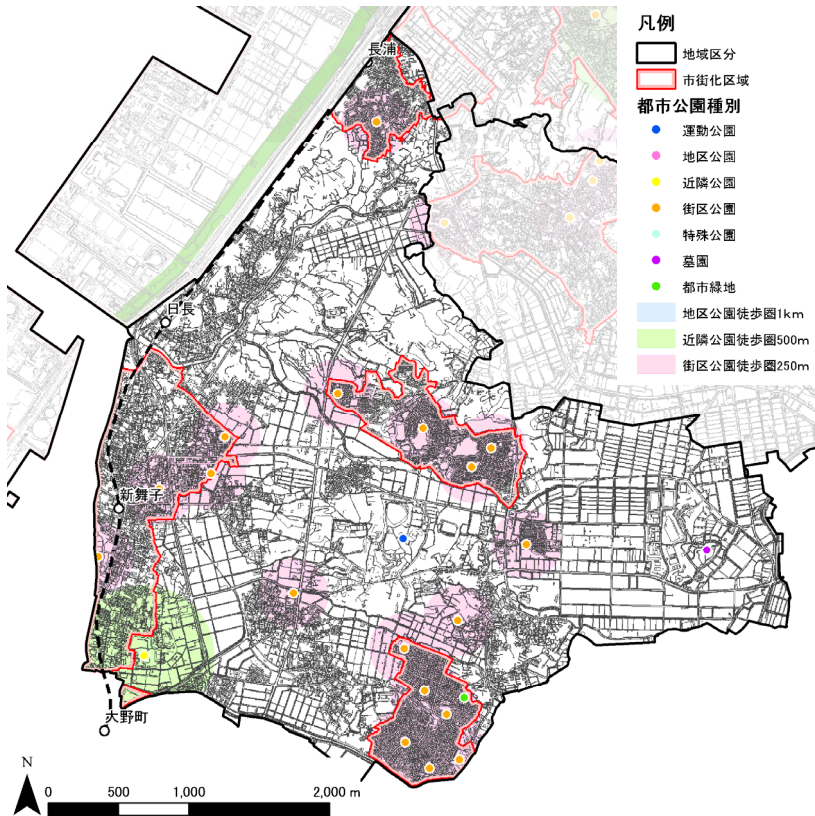
都市計画道路整備状況図(令和2(2020)年4月1日現在)



- 地域高規格道路である(都)西知多道路が整備予定です。
- (都)東海知多線の一部区間及び(都)岡田蒲池線が未整備となっています。

(資料:知多市都市計画課)

公園緑地整備状況図(平成31(2019)年3月末現在)



- 面的な住宅地開発により形成された日長台地区、旭桃台地区や南粕谷地区の大半は公園の徒歩圏に含まれています。
- 都市公園の徒歩圏外の新舞子駅、長浦駅周辺においてもその他の公園や広場により補完されています。

※公園誘致圏: 都市計画運用指針における誘致距離の参考値(地区公園: 1km、近隣公園: 500m、街区公園: 250m)を基にした圏域

(資料: 知多市緑と花の推進課)

イ まちづくりの課題

■ 南の玄関口にふさわしい拠点形成

新舞子駅周辺は本市南部における玄関口であり、住民の暮らしを支える副次的都市拠点ですが、商業・業務機能の集積が十分とはいえない状況にあり、集積を図る必要があります。

また、本市を代表する海洋観光・レクリエーション資源である新舞子海岸があることから、今後、より多くの人々が訪れるように、これらの貴重な資源をより広くアピールできるような魅力ある美しい景観を形成する必要があります。

■ (都)西知多道路の整備効果を受け止める新たな広域交流拠点の形成

本地域においては、名古屋都心部と中部国際空港を結ぶ(都)西知多道路のインターチェンジ整備が予定されており、広域的な人やモノの動きを地域の活性化につなげるため、地域振興に資する機能の誘導する必要があります。また、インターチェンジ予定地周辺には旭公園が立地していることから、広域交流拠点の形成に当たって、こうした既存ストックを活用していく必要があります。

■ 分散した市街地を結ぶネットワーク形成と生活環境の維持向上

本地域では、市街地や集落地が分散しており、こうした集落地や住宅団地において、高齢化が進んでいます。こうした高齢化への対応として、日常生活における移動を支えるネットワークを形成する必要があります。

■ 自然を楽しみながら暮らせるまちづくり

田園に囲まれた市街地や集落地の特性を生かし、自然を楽しみながら暮らせるように歩行者・自転車ルートの確保や、里地・里山等の保全・活用を図る必要があります。

■ 若年・子育て層を中心とした世帯の居住ニーズや産業立地の受け皿となる新市街地整備

将来都市構造において、住宅地候補エリアに位置付けた旭地区及び旭南地区、産業地候補エリアに位置付けた日長インターチェンジ(仮称)周辺地区及び大興寺工業団地地区(2期)においては、若年・子育て層を中心とした世帯の居住ニーズに対応する良好な居住環境の創出や周辺環境への配慮等により、魅力ある新市街地の形成を検討する必要があります。

ウ まちづくりの基本目標

海の魅力や広域交通の利便性を生かしたにぎわいを生むまちづくり

自然を感じて、ゆとりのある生活を楽しむことができるまちづくり

豊かな自然環境の中に分散する居住機能や交流機能が相互に結ばれ、まちのにぎわいと自然が調和し、人のつながりが豊かなまちづくりをめざします。

さらに、本地域内に(都)西知多道路のインターチェンジが整備されることによる広域交通の利便性の高まりを生かした旭公園と一体となった拠点形成するとともに、新舞子海岸の魅力を生かし、広域から人が訪れて楽しめるまちづくりをめざします。

エ まちづくりの方針

(ア) 土地利用の方針

■南部の玄関口として便利で暮らしやすい拠点づくり

○駅周辺や幹線道路沿道を中心として、南部の玄関口にふさわしい商業機能を集積するため、周辺の良好な居住環境や海岸景観と調和のとれた低層住宅や中高層住宅、店舗併用住宅の立地を誘導し、人口の集積を高め、日常生活を支える商業施設の充実を図ります。

■広域交流拠点としてふさわしい地区の形成

- 新舞子駅から海岸に至る道路沿道においては、広域交流拠点における玄関口として、物販・飲食・宿泊・マリレジャー関連サービス等の商業・業務機能の集積を図ります。
- 金沢インターチェンジ(仮称)周辺において、そのポテンシャルを生かした地域振興に資する機能の立地誘導を図るとともに、旭公園の既存ストックを活用しながら、広域交流拠点の形成を図ります。



■暮らしやすい住環境の形成

- 日長台地区、旭桃台地区や南粕谷地区等においては、身近な商業施設等の生活利便機能の維持・増進を図り、歩いて移動できる範囲で日常生活を送ることができる身近な生活圏の構築を図ります。
- 集落地においては、集落地内や隣接する里地・里山の良好な自然環境も生かしつつ、良好な居住環境の創出を図ります。

(イ) 都市施設の整備の方針

a 都市交通施設

■分散する市街地を結ぶ幹線道路整備

- (都)東海知多線等の未整備区間の整備を促進するとともに、分散する市街地間や市街地と駅を結ぶ都市幹線道路のネットワークの形成を図ります。これらの道路整備の計画に当たっては、歩行者・自転車の安全性確保・利便性の向上に配慮します。
- (都)岡田蒲池線については、ネットワークのあり方や、道路整備コスト等を検討のうえ、必要に応じて都市計画の見直しを行います。

■副次的都市拠点の機能を支える交通環境の整備

○新舞子駅前には公共交通の乗り継ぎ拠点として、徒歩・自転車・バス・自動車等の交通手段に対応できる交通環境を整えます。

■移動手段の確保

○既存バス路線の維持、確保に努めるとともに、地域の実情に応じた交通手段の確保を検討します。

■身近な生活道路の改善

- 面的都市基盤整備が行われていない地区においては、建築物の建替え時におけるセットバック、側溝の整備、道路内の電柱の移設等により狭あい道路の対策を図ります。

b 公園・緑地等

■旭公園の魅力向上

- 旭公園については、市民のニーズに対応した新たな施設の配置等を検討します。

■里地・里山の魅力向上

- 里地・里山の保全を図るとともにレクリエーション的な活用を図ります。

(ウ) 景観形成の方針

■広域交流拠点にふさわしい景観形成

- 新舞子駅から海岸に至る道路、海岸周辺や海岸に沿った道路、(市)大草線等の主要な道路やその沿道においては、広域交流拠点にふさわしい良好な景観の形成を図ります。

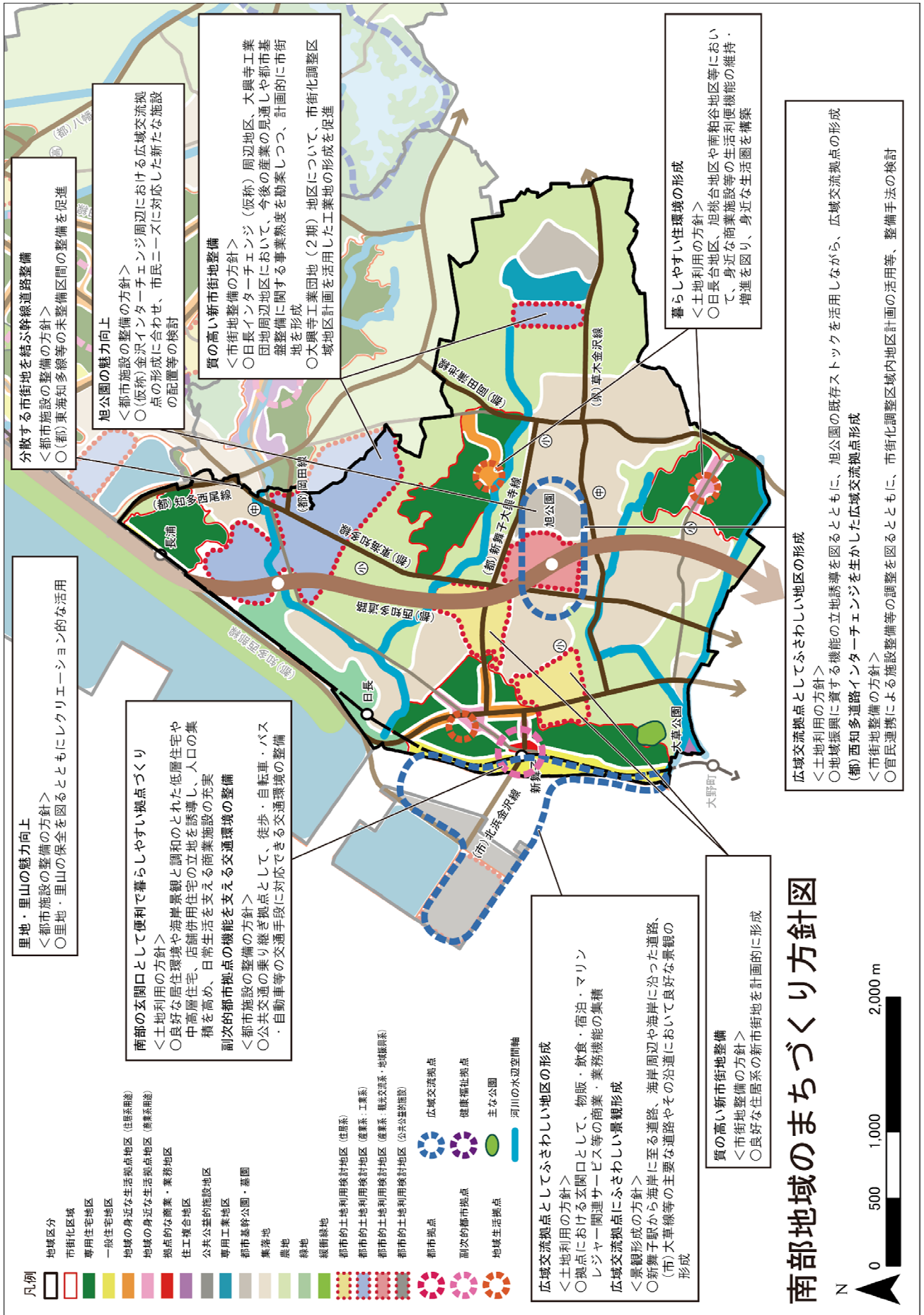
(エ) 市街地整備の方針

■(都)西知多道路インターチェンジを生かした広域交流拠点形成

- 金沢インターチェンジ(仮称)周辺における広域交流拠点の形成に当たっては、官民連携による施設整備等の調整を図るとともに、市街化調整区域内地区計画の活用等、整備手法の検討を行います。

■質の高い新市街地整備

- 旭地区及び旭南地区においては、居住機能のほか、居住者の生活の利便性を支える商業、サービス機能の誘導を図り、良好な住居系の新市街地を計画的に形成するため、土地区画整理事業等の検討を行います。
- 日長インターチェンジ(仮称)周辺地区、大興寺工業団地周辺地区においては、本市における今後の産業の見通しや都市基盤整備に関する事業熟度を勘案しつつ、計画的に市街地の形成を図ります。なお、大興寺工業団地地区(2期)については、市街化調整区域内地区計画を活用した工業地の形成を促進するとともに、事業完了後は大興寺工業団地地区(1期)をあわせた市街化区域への編入を検討します。
- これらの地区においては、周辺の自然環境との調和を図るとともに、環境共生に配慮した住宅や工業施設の立地を誘導することにより、計画的に質の高い市街地の形成を図ります。
- 旭南地区等においては、(都)西知多道路の整備や整備に伴う拠点の形成、新市街地の整備に当たっては、河川の整備状況等を踏まえた雨水排水対策を検討します。



凡例

- 地域区分
- 市街化区域
- 専用住宅地区
- 一般住宅地区
- 地域の身近な生活拠点地区 (住居系)
- 地域の身近な生活拠点地区 (商業系)
- 拠点的な商業・業務地区
- 住工複合地区
- 公共公益施設地区
- 専用工業地区
- 都市森林公園・墓園
- 集落地
- 農地
- 緑地
- 縦貫緑地
- 都市的土地利用検討地区 (住居系)
- 都市的土地利用検討地区 (商業系)
- 都市的土地利用検討地区 (健康系・観光系・地域振興系)
- 都市的土地利用検討地区 (公共公益施設系)
- 都市拠点
- 副次的都市拠点
- 地域生活拠点
- 広域交流拠点
- 健康福祉拠点
- 主な公園
- 河川の水辺空間軸

里地・里山の魅力向上
 <都市施設の整備の方針>
 ○里地・里山の保全を図るとともにレクリエーション的な活用

南部の玄関口として便利で暮らしやすい拠点づくり
 <土地利用の方針>
 ○良好な居住環境や海岸景観と調和のとれた低層住宅や中高層住宅、店舗併用住宅の立地を誘導し、人口の集積を高め、日常生活を支える商業施設の充実
 副次的都市拠点の機能を支える交通環境の整備
 <都市施設の整備の方針>
 ○公共交通の乗り継ぎ拠点として、徒歩・自転車・バス・自動車等の交通手段に対応できる交通環境の整備

分散する市街地を結ぶ幹線道路整備
 <都市施設の整備の方針>
 ○(都)東海知多線等の未整備区間の整備を促進

旭公園の魅力向上
 <都市施設の整備の方針>
 ○(仮称)金沢インターチェンジ周辺における広域交流拠点の形成に合わせ、市民ニーズに対応した新たな施設の配置等の検討
質の高い新市街地整備
 <市街地整備の方針>
 ○日長インターチェンジ (仮称) 周辺地区、大興寺工業団地周辺地区において、今後の産業の見通しや都市基盤整備に関する事業熟度を勘案しつつ、計画的に市街地を形成
 ○大興寺工業団地 (2期) 地区について、市街化調整区域地区計画を活用した工業地の形成を促進

暮らしやすい住環境の形成
 <土地利用の方針>
 ○日長台地区、旭眺台地区や南粕谷地区等において、身近な商業施設等の生活利便機能の維持・増進を図り、身近な生活圏を構築

広域交流拠点としてふさわしい地区の形成
 <土地利用の方針>
 ○地域振興に資する機能の立地誘導を図るとともに、旭公園の既存ストックを活用しながら、広域交流拠点の形成
 (都)西和多道路インターチェンジを生かした広域交流拠点形成
 <市街地整備の方針>
 ○官民連携による施設整備等の調整を図るとともに、市街化調整区域地区計画の活用等、整備手法の検討

南部地域のまちづくり方針図

